

ACCIDENTALLY Adaptive

by Josh Cossitt

『たまたま障害を持って生まれただけ』



Jジョシュ・コシット： ウィスコンシン州シャイアンにあるフロンティアパーク・テニスクラブのテニスディレクター。PTRとUSPTAのメンバーであり、USTAインターマウンテンのジュニアプログラム委員会の議長を務めている。最近「アメリカのトップコーチコンテスト」で男性コーチ部門の上位5名に選ばれた。ジュニアから大人まであらゆるレベルの人を指導し、ワイオミング州のテニスの発展のために尽力している。(Eメール: farnorthtennis@gmail.com)

【翻訳・監修】 鈴木真一： アド・イン テニス/PTR JAPAN代表、PTRインターナショナル・マスタープロフェッショナル

選手は順応しますが、コーチもちょっとしたヒントで順応します。シャノンと出会うまで、私はほとんどすべてのタイプの人たちと接してきましたつもりでした。約3年前のあの日、私たちはお互いに、そして地域社会にどれほどの影響を与えることになるか知る由もありませんでした。ただ、一緒にテニスを学ぼうと思っていただけなのです。

シャノンは控えめに言ってもとてもユニークな人です。彼女の小さな身体は、エネルギー、努力、意見、信念に満ちています。彼女は、TARS (Thrombocytopenia Absent Radius Syndrome; 血小板減少-橈骨欠損症候群) を患っています。TARSを簡単に説明すると、生まれつき腕の橈骨がなく、血小板の数が非常に少ないという疾患です。彼女は、自分の生体力学的な限界やバランスの問題について、最初からとても率直に話してくれ、私も、すべては一緒に作り上げるものだとして正直に話しました。

医療に関しては、専門家の方が私よりも詳しいので、助けを求め、トリー・ローゼンタール医師(PT =理学療法士, DPT=?)と出会いました。彼女はシャノンの小児理学療法士で、シャノンがこの世に生まれてからずっと彼女に関わってきていました。また、熱心な4.0のテニスプレーヤーでもあります。自分たちが何を作っているのかわからないまま、作品はどんどんで

きあがっていきました。私がいろいろと学ぼううちに、シャノンのテニスも上達してきました。ナチュラル・テニス社のトレン・アーロン氏が彼女のために用意してくれたダブルハンドルのラケットを使って、彼女は高校のチームに入ることを目指して毎日練習していました。

夏が近づくと、トリー医師から、彼女のクリニックでテニスを楽しめそうな人たちを見つけたので、週に一度、夜に3~4人で一緒に練習しないかとの連絡を受けました。そこで、私が指導しているジュニア選手たちに協力を依頼し、月曜日の夜のアダプティブ・テニス・クラスをスタートさせました。当初は選手とコーチの比率を1対1にするということで小規模にスタートしましたが、プログラムが成長するにつれ、質と安全性を維持するための増員が必要になってきました。このプログラムのために週に1時間を割いてくれる、あらゆるレベルのジュニアプレーヤーが無数にいたことがわかりました。また、ロコミで、小児理学療法士やその患者さんたちも参加するようになってきました。

今年の夏は、20名近くのTARS、外傷性脳損傷、片麻痺、自閉症、脳性麻痺、ダウン症、その他の遺伝性症候群などを患っているアスリートたちと関わる予定です。レベルの高いジュニアや、高校のチームの選手、レクリエーションレベルのジュニアたちも指導者やコーチとして参加します。サッカーなどで障害者スポーツを行っていた他のセラピストからは、

我々のプログラムへの参加やテニスを彼らのプログラムに加える方法について問い合わせがありました。

テニスはみんなのものです! これまで幾度となく聞いてきた言葉ですが、今、私はその夢の一部となっています。

-Josh Cossitt

話を進めると、シャノンも過去2年間高校のテニスチームでプレーをしており、コート上での努力が認められて数々の賞を受賞しています。この秋には、カリフォルニア州のシンプソン・カレッジに入学し、看護師の資格の取得を目指します。彼女の努力は、テニスをしたと思っていたただの子供から、今では障害者プログラムの作成し、それを運営して無

償で選手を支えて、成長させていくための専門家のネットワークの構築にいたるまで、私を手伝ってくれています。いやはや、目がまわるような忙しさです。

そこで、私からのアドバイスですが、あなたの地域にもいるであろう障害者アスリートに、ほんの少しだけ時間を割いて連絡してみてください。そうすれば、「世界を変える」ような経験ができることに気づくでしょう。そしてその経験は、あなたにとって新たな世界を作ることになるでしょう。

以下に私のアドバイスをいくつかご紹介します。何か質問があれば、気軽に連絡してください。

PTR will host the 20th Annual Special Olympics National Championships on Hilton Head Island, October 14-16th. If you'd like to volunteer, spectator, donate or participate, contact Julie@ptrtennis.org.



Tips to Build Your Own Youth Adaptive Program



1

あなたの地域の理学療法士に連絡をとってみましょう。彼らが関わっている子供たちの中にはテニスをした子供たちがたくさんいるでしょう。既にいろいろな障害者スポーツがある中で、テニスを初めさせるきっかけになるでしょう。興味がある子供がいたら知らせしてほしい旨伝えましょう。

2

自分の生徒のジュニアプレーヤーに話をしてみましょう。子供たちの多くは、奨学金を得るために社会奉仕活動の実績を必要としています。私を手伝ってくれた子供たちは皆、彼らが申請に必要な時間を手伝ってくれた後も続けてくれています。

3

障害者アスリートは基本的に「子供」であり、彼らはただ楽しみたいと思っていることを忘れないでください。最初はテクニックを気にせず、コートに立たせてあげましょう。その後、技術やスキルを磨き始めることができます。

4

親に参加してもらいましょう。自分の子供のことは親が一番よく知っています。週に一度この時間が、その前の週から子供が話していたことのすべてであるという親からの言葉に勝るものはありません。

5

USTAの「障害者活動助成金」を活用しましょう。当初は800ドルでスタートして、Tシャツ、機材、食事に使いました。多くの人がこのプログラムの価値を認めてくれたので、冬でも活動ができるようになりました。

6

とにかく、やってみよう。今日があなたの残りの人生の最初の日なのだから!